

【5】 記録

XSPA事業実績 2012～2022

2012

6/28 設立総会

場所：科学技術振興機構 東京本部 3階会議室

呼びかけ人 時実、中西、小宮山、林、橋本、宮川 他参加17名

9/19 第1回記念講演会（一般向け）

場所：科学技術振興機構 東京本部別館ホール

共催：科学技術振興機構

後援：情報科学技術協会

1. XMLが開く学術出版の未来（時実象一 愛知大学教授）
2. J-STAGEで実現する新しい電子ジャーナル（久保田壮一 科学技術振興機構）
3. 印刷会社はXMLで飛躍する（中西秀彦 中西印刷株式会社）
4. J-STAGEにおけるXML出版の経験（学会・印刷会社による経験披露）

11/2 第2回記念講演（一般向け）

場所：科学技術振興機構 東京本部 地下1階大会議室

共催：科学技術振興機構

1. XMLが開く学術出版の未来（時実象一 愛知大学）
2. J-STAGEで実現する新しい電子ジャーナル（久保田壮一 科学技術振興機構）
3. 印刷会社はXMLで飛躍する（中西秀彦 中西印刷株式会社）
4. J-STAGEにおけるXML出版の経験（学会・印刷会社による経験披露）

12/10 第2回理事会

2013

1/18 関西地区記念講演 神戸 JST主催

XMLが開く学術出版の未来（中西秀彦 中西印刷株式会社）

1/31 第1回総会 講演会（会員向け）

場所：科学技術振興機構 東京本部別館 2階会議室

JATS-conの報告（時実象一 愛知大学）

J-STAGE3の運用と開発の現状（久保田壮一 科学技術振興機構）

各分科会

第1分科会「JATS規格検討」時実象一

第2分科会「J-STAGE全文HTML制作実務」家入千晶

第3分科会「J-STAGE/PMC XML相互変換」林 和弘

各分科会趣旨

2014

3/18 (京都) 3/19 (東京) J-STAGE利用学協会意見交換会

J-STAGEセミナーと併催

4/18 セミナー「XML自動組版を実践する」

場所：ベルサール九段 Room1

XML自動組版を実践する (小林具典 アンテナハウス)

7/23 第3回総会 講演会 (会員向け)

場所：アルカディア市ヶ谷

J-STAGEの最近の情勢—オープンアクセスへの対応とJ-STAGEの新サービスについて— (杉本樹信 科学技術振興機構)

XMLへの我が社の取り組み (三枝央 レタープレス)

7/23 「JATS日本語訳」を作成・配布

10/27 XML/JATS 入門セミナー (一般向け)

場所：科学技術振興機構 東京本部別館 2階セミナールーム

XML/JATS入門 (時実象一 愛知大学)

12/3 XMLとXSL入門セミナー (一般向け)

場所：科学技術振興機構 東京本部別館 2階セミナールーム

XMLとXSL入門 (中原康介 レタープレス) (小林具典 アンテナハウス)

12/15 セミナー「投稿審査システムとXML組版」

場所：科学技術振興機構 東京本部別館 2階セミナールーム

投稿審査システムとXML組版 (大澤響 アトラス)

2015

3/29 ホームページ (xspa.jp) を刷新

4/1 事務局委託先を変更

(一社) 情報科学技術協会から (株) メイプロジェクトに変更

4/21 「JATS-Con 2015」で発表

場所：NLM (National Library of Medicine) (Bethesda-米国ワシントンDC近郊)

「Creating JATS XML from Japanese language articles and automatic typesetting using XSLT」中西秀彦他

Hidehiko Nakanishi ⁽¹⁾ Toshiyuki Naganawa ⁽²⁾ Soichi Tokizane⁽³⁾ Tsuyoshi Yamamoto ⁽¹⁾

1) Nakanishi Printing Co., Ltd. Kyoto Japan 2) Antenna House Inc. Tokyo Japan 3) University of Tokyo

中西・時実他 医学中央雑誌刊行会から 松田、黒澤他が参加

<https://escienceediting.org/m/journal/view.php?number=46>



JATS-Con前日、NLMのPMC部門を訪問、文献のPMC掲載について日本側からの要望を伝えた。

5/20 「J-STAGEにおけるXML活用についての提言」

JST加藤 治彦 執行役に対し提案を行った。28ページ参照。

6/17 セミナー「より多くの良質な著者・読者獲得のためにーXMLとS1MとAuthor Marketingー」

場所：ベルサール九段 Room3

1. XMLと国際発信、世界共通言語としてのファイルのXML（中西秀彦 中西印刷）
2. ScholarOne Manuscriptsと外部システム連携による運用強化～世界の利用ジャーナルでの事例（鳥海英夫 杏林舎）
3. 国際発信力の強化のために世界の出版社が取り組んでいる著者向けマーケティングサービスの紹介とXMLへの期待（波多野薫 ThomsonReuter）

6/30 BITS (Book Interchange Tag Suite) の日本語対応について提言

7/29 第4回総会 講演会（会員向け）

場所：カクタス・コミュニケーションズ株式会社

オープンサイエンス時代の学術情報XML（林 和弘 文部科学省科学技術・技術政策研究所科学技術予測センター 上席研究官）

J-STAGEの状況と今後の方針について（坪井彩子 科学技術振興機構）

JATS-Con 報告 ～スキマトロンが活躍する欧米のジャーナル編集～（時実象一）

10/9 JATS-Con Asia国際会議（一般向け）

科学技術振興機構との共催

米国国立衛生研究所（NIH）JATSグループの支援

場所：科学技術振興機構 東京本部 地下1階会議室

主題：アジア地域における学術出版におけるXMLおよびJATS利用について

出席者数 80名 内国外7名

識別子とオープンサイエンスー（武田英明 国立情報学研究所、ORCID理事）

JATS and Its Role in Scholarly Publishing (Bruce Rosenblum Inera Inc., NISO JATS Standing Committee)

日本語で表現された論文のXSLTを用いた自動組版によるJATS XML化（中西秀彦 中西印刷株式会社）
 医中誌Webデータベース作成におけるJATSデータの利用（黒沢俊典 NPO医学中央雑誌刊行会）
 Challenges in implementing a multi-lingual publishing workflow（Chandi Perera Typefi）
 JATS for Korean medical journal databases: Synapse, KoreaMed and KoMCI（Choon Shil Lee Sookmyung Women's University）
 J-STAGEの概況と今後の取り組みについて（樋廻美香子 科学技術振興機構）
 閉会挨拶（小賀坂康志 科学技術振興機構 知識基盤情報部長）
 開催にあたっては、JSTより会場・同時通訳の提供など多大なご支援を頂いた。なお本会議については中西事務局長が記事を発表している。
<https://doi.org/10.1241/johokanri.58.936>

2016

3/7 セミナー「XMLワンソース・マルチユースへの道」

場所：科学技術振興機構 東京本部別館 2階セミナールーム

講師：下川和男（イースト株式会社 代表取締役社長）

5/13 スキマトロン連続勉強会（会員向け）

場所：科学技術振興機構 東京本部別館 4階会議室

XPathの書き方／XPathを書いてみよう（山本剛 中西印刷）

8/5 第5回総会 講演会（会員向け）

場所：カクタス・コミュニケーションズ株式会社

オープンサイエンス時代の学術情報XML（林 和弘 文部科学省科学技術・技術政策研究所科学技術予測センター 上席研究官）

J-STAGEの状況と今後の方針について（坪井彩子 科学技術振興機構）

JATS-Con 報告～スキマトロンが活躍する欧米のジャーナル編集～（時実象一 XSPA会長）

12/13 セミナー「電子出版の変革」（一般向け）

場所：カクタスコミュニケーションズ株式会社

Web標準を利用したワンソースマルチユースの実現に向けて（村上真雄 Vivliostyle）

2017

3/13 セミナー「電子ジャーナルを作るとのこと」

場所：科学技術振興機構 東京本部別館 2階セミナールーム

講師：渡邊芳之（帯広畜産大学教授人間科学研究分野 教授、日本パーソナリティ心理学会理事長、日本心理学会専門別代議員）

6/2 「学術情報の流通を考える－ORCIDとJ-STAGE新バージョン評価版をめぐって－」

場所：カクタス・コミュニケーションズ株式会社

国際研究者識別子ORCID（宮入暢子 ORCID Regional Director, Asia Pacific）

J-STAGEの評価版について（小倉辰徳 XSPA理事）

6/30 JATS規格検討分科会 翻訳と掲載作業

JATS1.1仕様書の翻訳

JATS4Rページの翻訳HTMLページへの掲載 <https://www.jats4r-ja.org/>

8/2 第6回総会 講演会（会員向け）

場所：アルカディア市ヶ谷

EPUB最新動向とW3CによるWebアノテーション勧告（村田真 国際大学GLOCOMフェロー）

XSPAの5年間と学術出版の動向（時実象一）

発展するアジアのオンラインジャーナル～CASE ISMTEに参加して～（中西秀彦 中西印刷）

10/1 「J-STAGEのJATS1.1採用について」提案

科学技術振興機構に対して、「J-STAGEのJATS1.1採用について」の提案を行った。（別添）

11/21-22 スキマトロン勉強会

場所：科学技術振興機構 東京本部別館 2階会議室

講師：小林具典（アンテナハウス）、楠健一（中西印刷）

2018

6/30 JATS Ver. 1.1日本語版WEB公開（ELEMENTSのみ）

<http://xml-sch.com/jats/tag-library/ver2/1.1-J/>

8/2 第7回総会 講演会（会員向け）

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

医書ジェーピーの試みー民間によるXML電子出版の展開ー（金原俊 医書ジェーピー取締役、医学書院社長、黒澤俊典 医学中央雑誌刊行会）

JATSに関する最新情報ーJATS-Con 2018に参加してー（時実象一）

J-STAGEの現況とこれから（大井喜久子 科学技術振興機構）

11/7 JATS XML初心者セミナー1 入門編（会員向け）

場所：ベルサール九段 room1

講師：時実象一（XSPA会長）

实例紹介（㈱アトラス、医学中央雑誌刊行会）

12/3 JATS Ver. 1.1日本語完全版WEB公開（会員向け）

2019

5/13 JATS XML初心者セミナー2 実践編

場所：ベルサール九段 room1

講師：小林具典（アンテナハウス）

8/2 第8回総会 講演会（会員向け）

場所：DMZ CAFE イベントスペース

TEIの紹介と人文系におけるXMLの利用（永崎研宣 人文情報学研究所主席研究員）

JATSに関する最新情報～JATS-Con2019に参加して～（時実象一）

J-STAGEの現況とこれから（大井喜久子 科学技術振興機構）

2020

1/15 セミナー「学術出版デジタル化最前線－世界の趨勢と日本の危機－」（一般向け）

JEPA（日本電子出版協会）との共催セミナー 200人超参加

場所：株式会社パピレス 4階セミナールーム

日本の電子ジャーナルの草分け：中西印刷の冒険（中西秀彦 中西印刷株式会社）

世界標準に切り込む：JATSとは（時実象一 東京大学大学院情報学環 高等客員研究員）

世界の趨勢と日本の危機：日本の電子ジャーナルの见えない化！？（林 和弘 科学技術・学術制作研究所 科学技術動向研究センター センター長補佐、XSPA顧問）

3/1 新型コロナのため活動が制限されはじめる

8/4 第9回総会 講演会 会員のみオンライン

学術情報を結びつける識別子－DOI、ORCID、ROR などなど（時実象一）

J-STAGEの現況とJ-STAGE Data（久保田壮一 科学技術振興機構）

11/16 ウェビナー「学術情報XMLの作成実務」（会員向け）

第一部：学術情報XMLの作成方法あれこれ

1. 我が社の作成事例（三美印刷 小宮山印刷）
2. oXygenとAH Formatterによる作成技法（アンテナハウス）

第二部：オーサリングツールの現在

オーサリングツールの紹介と今後の展開（時実象一）

2021

4/26 ウェビナー「全文XML作成に向けて」（会員向け）

第一部：学術情報XML作成ツールの現状

1. J-STAGEツールについて（久保田壮一 科学技術振興機構）
2. InDesignからのXML（木龍美代子 メディア木龍）
3. oXygenによる作成技法（山本剛 中西印刷）

第二部：パネルディスカッション

8/3 第10回総会 講演会 会員のみオンライン

「海外学術情報の動向 - JATS-Con 2021 他」（時実象一）

「J-STAGEの現況」（加藤斉史 科学技術振興機構）

「コロナ禍における学術集会の動向について」（東武志 マイス・ワン）

11/8 ウェビナー「XMLなんでも語り合おう」

「話題提供」

アフターコロナ時代の印刷の減少とXML対応による業態変革

J-STAGE Dataを使ってみました

COIやFunding、Author Contributionなどの今までになかった項目どうしてます？

2022

1/24 10周年記念座談会 WEB

中西秀彦 時実象一 林 和弘 井津井豪 家入千晶

4/21 セミナー (会員向け) オンライン

日本の電子辞書を支えるXMLフォーマット『LeXML』－成功の秘密 (永田健児 株式会社デジタルアシスト 代表取締役)